

■ 主要諸元

	30. 2D	30. 2Q	40. 2W	40. 2MEMCWQE2	40. 2MEMCW ISOBUS	40. 2HEMCW PRO
散布幅 (ティスク名)	12-18m (S2) / 18-28m (S4-標準) 24-36m (S6) / 30-42m (S8)		12-18m (S1 ^{※1} VXR ^{※2}) / 18-28m (S4VXR ^{※2}) 24-36m (S6VXR ^{※2} -標準) / 30-42m (S8VXR ^{※2})			
容量 (L) ^{※3}	1400-3200					
最大積載量 (kg)	3200					
機体重量 (kg) ^{※4}	327		397		447	
ホッパー幅 (m) ^{※4}	2.4					
積み込み高さ (cm) ^{※4}	106					
ディスク駆動方式	PTO 式					油圧式
車速連動	-		標準			
セクションコントロール ^{※5} (パリスプレッド)	-		レディ (2セクション)	レディ (2セクション)	レディ (8セクション)	レディ (最大42セクション) (1m/1セクション)
シャッター開閉	油圧複動		電動			
ドロップポイント調整	手動			電動		
重量センサー	-		標準			
オプティポイント ^{※5}	-		レディ			
テリマットコントロール	オプション			標準		-
コントロールボックス	-		クオントロン A	クオントロン E2	クオントロン A	-
ISOBUS	-				標準	

※1 40. 2W は S2 ディスクになります。

※2 ハードコーティングタイプ

※3 下記オプションのホッパーエクステンションによって変動します。

※4 ホッパーエクステンション未装着時

※5 使用するためには、FM750 やトラクター純正品などの GPS 機器との連動が必要です。

それぞれの GPS 機器で、オプションのライセンスや、専用のケーブルが必要になる場合がありますので、最寄りの営業所にお問合せ下さい。

■ オプション品

ホッパー エクステンション	L800	L1500	XL1300	XL1800
ホッパー幅 (m)	2.4		2.8	
追加容量 (L)	800	1500	1300	1800
合計容量 (L)	2,200	2,900	2,700	3,200
追加高さ (cm)	26	50	38	52
追加重量 (kg)	50	85	75	85

・ホッパーカバー



・テリマットコントロール



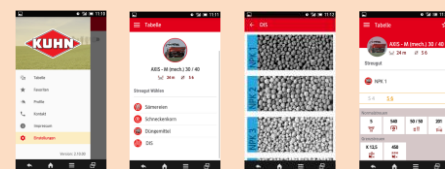
境界散布の際、肥料の弾道をコントロールします。

■ GPS 機器接続例



・クオントロン用ケーブル
(標準装備/クーン)
・FM750 用ケーブル 2 種
(オプション/ニューホランド)

■ ファテライザープレッダー 専用アプリ



スマートフォン用アプリ《KUHNSpreadset》で、各肥料ごとに希望の散布量と散布幅から、アクシスの調整方法を確認することができます。

⚠ 農作業安全のワンポイント(取扱説明書の熟読を)

操作ミスは作業効率を悪くするばかりでなく、事故にもつながりかねません。機械の性能を最大限に発揮させ、安全な作業を行うために、トラクターや作業機に貼付されている安全ラベルや取扱説明書をよく読み、正しい取扱いを心掛けましょう。



日本ニューホランド株式会社

お問い合わせ

交通安全宣言 日本ニューホランドの社員は、交通事故や違反で皆様にご迷惑をおかけしないためにも、社速度を厳守します。また、業務中の携帯電話の使用を控させていただきます。

ホームページ <http://www.nh-hft.co.jp/>

新商品情報や中古情報などお役に立つコンテンツが満載

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-43-2151

月曜～金曜(祝祭日除く) 9:00～12:00 13:00～17:00

このカタログに使用されている写真は海外仕様のため、日本仕様とは一部異なる場合があります。

ファテライザープレッダー AXISシリーズ

30.2D/Q

40.2W/40.2MEMCWQE2

40.2MEMCWISOBUS/40.2HEMCWPRO



正確な散布量 正確な散布パターン GPSコントロール あらゆる肥料の散布を精密にコントロール



PRECISION LAND MANAGEMENT ~ 精密農業 ~

限られた圃場で最大の収量を得る事に加え、作業の効率化とコスト削減を目指す農法。肥料は作物の生育を大きく左右するため、その工程で肥料散布は最も重要な作業と言っても過言ではありません。クーン社のファテライザープレッダーは、CDA(ドロップポイント調整)、車速連動、重量計測、GPSコントロール、セクションコントロール等の機能によって肥料の散布を精密にコントロールするため、PLMに最も適したプレッダーと言えます。

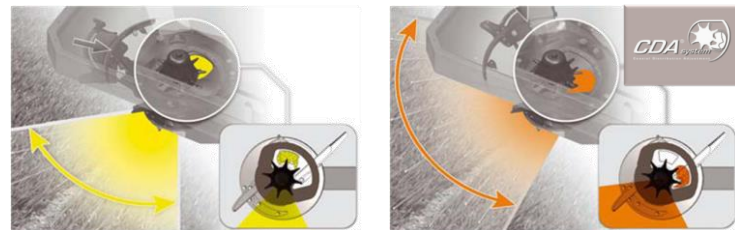
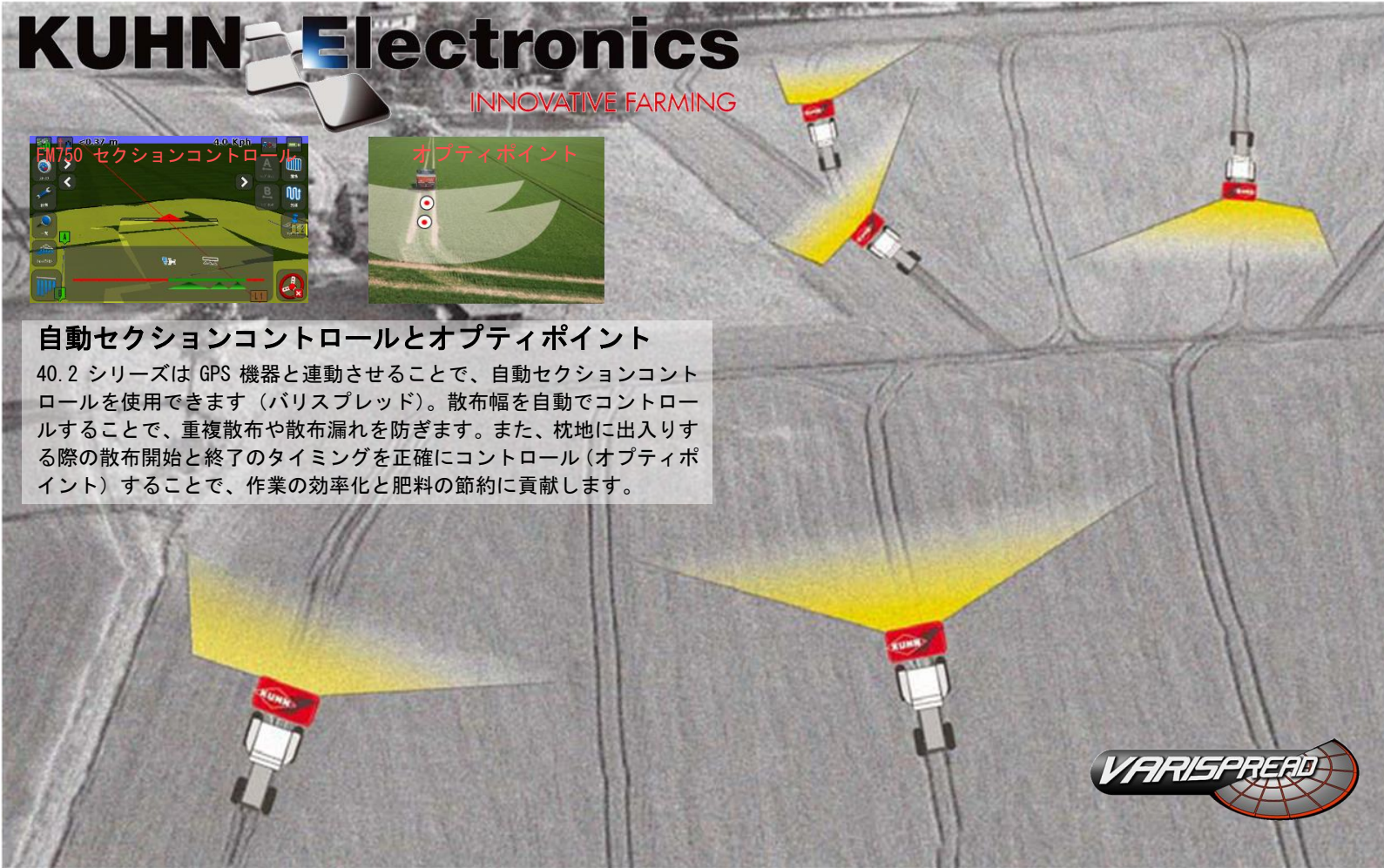
KUHN Electronics

INNOVATIVE FARMING



自動セクションコントロールとオプティポイント

40.2 シリーズは GPS 機器と連動させることで、自動セクションコントロールを使用できます (パリスプレッド)。散布幅を自動でコントロールすることで、重複散布や散布漏れを防ぎます。また、枕地に出入りする際の散布開始と終了のタイミングを正確にコントロール (オプティポイント) することで、作業の効率化と肥料の節約に貢献します。



CDA(ドロップポイントの調整)による正確な散布

肥料をディスクに落とす開口部の位置(ドロップポイント)を調整することで、散布幅・散布パターンを変更します。複数の開口部から肥料を落とすことで、散布量や作業速度の影響を受けることなく、一定で均一な散布を可能にします。EMCモデルではこれを電動アクチュエーターで動かし、散布幅を自動で調整します。



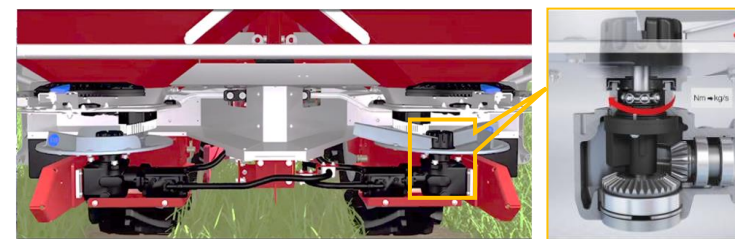
2つの重量センサーによる正確な重量計測

Wモデルには2つの重量センサーが装備されています。1秒間に100回重量を計測することで、正確な量を散布します。



超低速アジテーター

散布ディスクへの肥料の送り込みをアシスト。17rpmという低回転数で、肥料の損傷を防ぎます。



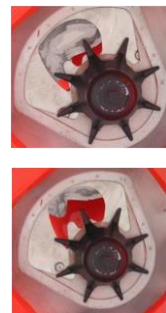
EMC(Electronic Mass Control)による散布量調整

EMCモデルには、EMC(電子式質量制御)機能が装備されています。ディスクが回転する際のトルクを左右のセンサーで計測し、それを解析することで施肥量を測定します。これにより、左右の施肥量を個別に修正できるため、より精度の高い作業が可能となります。また、このシステムは傾斜の影響を受けないため、傾斜地においても目標の施肥量を維持することが出来ます。



油圧式ディスク駆動による精密散布と経費削減

40.2HEMCWISOモデルは、油圧駆動によってディスクを回転させます。ドロップポイントの調整に加え、ディスクの回転数も調整されるため、より精密な散布コントロールが可能です。また、PTOを使用しないことから、エンジン回転数を上げる必要がなくなるため、燃費の向上につながります。



車速連動シャッターコントロール

散布作業時の走行速度によって、シャッターの開閉を自動で調整します。圃場の起伏や枕地の出入りの際、車速が変化しても一定の散布量を維持するため、均一に散布することができます。走行速度は、標準装備のホイールに取り付ける回転センサーやトラクターの速度センサー、GPS機器などから取得する事ができます。

CCI1200モーター(オプション)

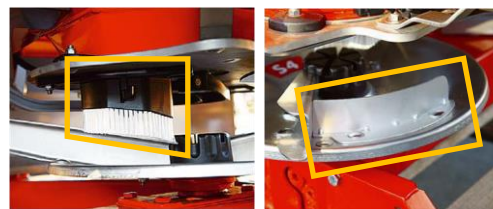


QUANTRON E2/A



用途に応じた様々なコントロールボックス

重量センサー付きのモデルやそうでないモデル、他の作業機のコントローラ (ISOBUS) としても使用したい場合など、モデルや用途に適したコントロールボックスが付属します (ISOBUS仕様はオプション)。散布量と散布幅、肥料の落下地点を設定してしまえば、あとは走行するだけで散布を自動でコントロールします。また、散布中に手動で散布量の増減も可能です。



散布精度を向上させる ドロップガイドとデフレクター

ドロップガイドがディスクに落ちる肥料を正確な位置に誘導し、デフレクターによって散布ディスクの高速回転によるブレを抑制することで、肥料の軌道を狂わせることなく精密に散布します。



国際規格 ISOBUS に対応

ISOBUS仕様のアクシスでは、トラクター純正のモニターで作業のコントロールが可能です。新たなモニターを設置する必要がないため、キャビンの中をすっきりさせるのと同時に、経費の節約につながります。



可変施肥 (レートコントロール)

あらかじめ GPS 機器に施肥量マップを入れる事で、それぞれの地点ごとの施肥量を自動で調整します (PCの専用ソフトウェア等が必要です)。